

著者 横山悠太 (よこやま ゆうた)

1981年、岡山県生まれ。作家、日本語教師。

2014年、『吾輩ハ猫ニナル』(講談社)で

群像新人文学賞を受賞。

2017年、『小説ミラーさんーみんなの日本語

初級シリーズー』(スリーエーネットワーク)、

2019年、『唐詩和訓ーひらがなで読む名詩100』

(大修館書店)、『小説ミラーさんⅡーみんなの

日本語初級シリーズー』(スリーエーネットワー

ク)を出版。

しょうせつ
小説 ミラーさんーみんなの日本語初級シリーズー にほんごしょきゅう

2017年7月18日 初版第1刷発行

2020年3月23日 第4刷発行

著者 横山悠太

発行者 藤寄政子

発行 株式会社スリーエーネットワーク

〒102-0083

東京都千代田区麹町3丁目4番トラスティ麹町ビル2F

電話 営業 03(5275)2722

編集 03(5275)2725

<https://www.3anet.co.jp/>

印刷 萩原印刷株式会社

ISBN978-4-88319-755-2 C0081

落丁・乱丁本はお取替えいたします。

本書の全部または一部を無断で複写複製(コピー)することは著作権法上での例外を除き、禁じられています。

「みんなの日本語」は株式会社スリーエーネットワークの登録商標です。

「皆さん、ほんとうにいろいろお世話になりました」

僕はそう言いながら、ちよつと泣いてしまった。

「ミラーさん、頑張ってくださいね。お体に気をつけて」

と佐藤さんが言った。佐藤さんも泣いているようだった。

「はい。皆さんも、どうぞお元気で」

*

そして次の朝、僕は新幹線で東京へ向かった。

国^{こくじん}人が日^に本^{ほん}語^ごでスピーチをするのだ。カリナさんも出^でるし、僕^{ぼく}も出^でるつもりだ。

「アキバだったら僕^{ぼく}のほう^{ほう}が詳^{くわ}しいから、今^{こん}度^ど案内^{あんない}するよ」

とタワポン君^{くん}が言^いった。「アキバ」とは、東^{とう}京^{きやう}の秋^{あき}葉^は原^{ばら}のことだ。

「うん、よろしくね」

「ミラーさんが作^{つく}ったギョーザ、とてもおいしかったです。また食^たべさせてくださいね」

とワンさんが言^いった。

「はい。次^{つぎ}は、中^{ちゆう}国^{こく}のほかの料^{りやう}理^りにもチャレンジしてみたいです」

いつもはパーティーに参^{さん}加^かしないグプタさんも、きようは来^きてく

れた。ありがとう。

「もちろん」

またメールをしますね、木村さん。

「皆さん、暇があつたら、ぜひ東京へ遊びに来てください」

「ミラーさんも大阪へ来たら、電話をください。いつしよに飲みましょう」

とサントスさんが言った。

「ええ、ぜひ」

「ミラーさん、スピーチコンテストでまた会いましょう」

とカリナさんが言った。

「ええ、楽しみですね」

スピーチコンテストのことは、カリナさんに教えてもらった。外